

# 東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：6月9日～7月8日）

平成13年6月8日 仙台管区気象台

## 1. 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）



[気温]：東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。「高い」の可能性が次に大きく、その確率は30%です。「低い」の可能性は20%と小さい。

[降水量]：東北地方は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ40%です。「少ない」の可能性は20%と小さい。

[日照時間]：東北地方は「平年並」か「少ない」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ40%です。「多い」の可能性は20%と小さい。

## 2. 予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

### 向こう1か月

東北地方の天気は、前線や低気圧の影響を受け易く、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。前半はオホーツク海高気圧の影響で気温の低い時期があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

向こう28日間の平年の晴れ日数：東北地方で約11日

### 各予報期間の天候の特徴

1週目…………… 10日から12日にかけて、気圧の谷の影響で天気がくずれるでしょう。その後は東北日本海側では概ね晴れますが、東北太平洋側では曇りの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

平年の晴れ日数：東北地方で約3日

2週目…………… 前線や低気圧の影響を受け易く、曇りや雨の日が多いでしょう。オホーツク海高気圧の影響で一時気温が低くなるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

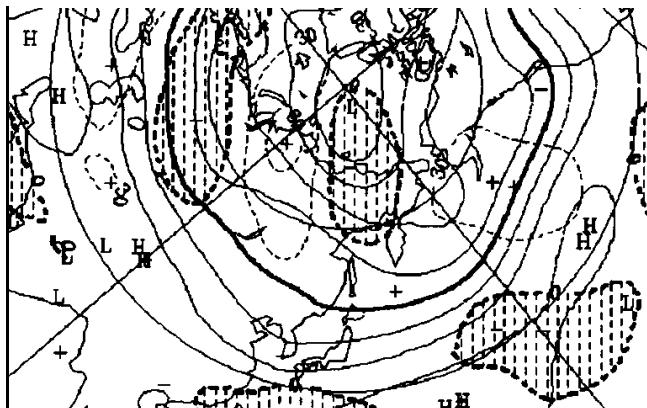
平年の晴れ日数：東北地方で約3日

3～4週目…………… 前線や低気圧の影響を受け曇りや雨の日が多いですが、天気は概ね周期的に変化するでしょう。

平均気温は高いでしょう。

平年の晴れ日数：東北地方で約5日

### 予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



月平均の 500hPa 高度・偏差  
(等高度線 : 60m 毎、偏差 : 30m 毎、陰影部 : 負偏差)

#### ・ 500hPa 高度・偏差

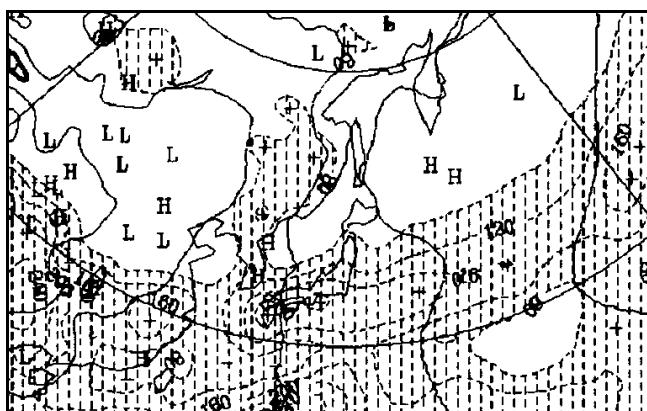
月平均で見ると、日本付近は正偏差に覆われる。日本の南海上は負偏差に覆われ、太平洋高気圧の西への張り出しが平年に比べて弱い。西谷傾向で前線や低気圧の影響を受け易い。

週別（図略）では、1週目は負偏差に覆われる。東北地方は弱い東谷で寒気が入りやすい。2週目は西谷が顕著で前線や低気圧の影響を受けやすい。また、オホーツク海には弱い気圧の尾根がみられる。3~4週目は正偏差に覆われる。弱い西谷傾向で前線や低気圧の影響を受けるが、天気は周期的に変化する見込み。

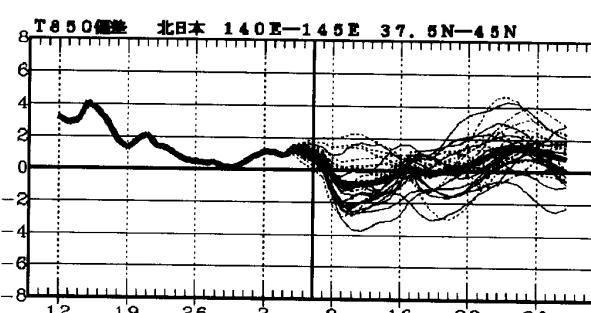
#### ・ 地上気圧と降水量

月平均で見ると、太平洋高気圧の西への張り出しが、平年に比べて弱い。一方、北海道の東にはオホーツク海高気圧が予想される。日本の南岸には梅雨前線に対応するまとまった降水域があり、東北北部まで広がる。

週別（図略）では、1週目は降水域が東北まで広がる。また、オホーツク海高気圧がはっきり予想される。2週目も降水域が東北北部まで広がる。1週目に比べると弱まるが、オホーツク海高気圧が引き続き予想される。3~4週目は、前線に対応するまとまった降水域が本州南岸で明瞭になる。



月平均の地上気圧と降水量  
(等圧線 : 4hPa 毎、降水量 : 40mm 毎、陰影部 : 80mm 以上)



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想  
(縦軸 : 気温平年差 ( ) 横軸 : 日付)  
発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）  
の平均値

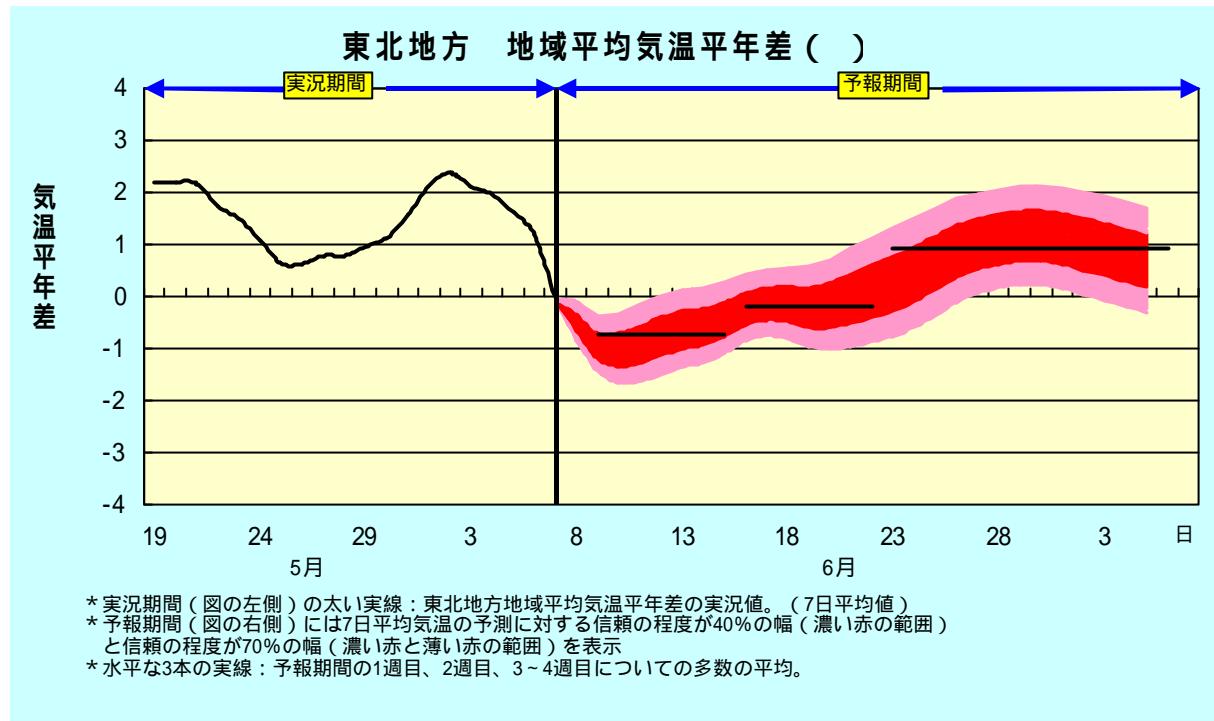
#### ・ 北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は1週目は平年より低いが、1週目半ばから上昇し、3週目半ばからは平年より高く推移する。

ただし、1週目から各メンバーのばらつきが大きく、信頼度は小さい。

### 3. 東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

週別の気温は、1週目「低い」、2週目「平年並」、3~4週目「高い」を予測している。  
なお、予報の信頼度は小さい。

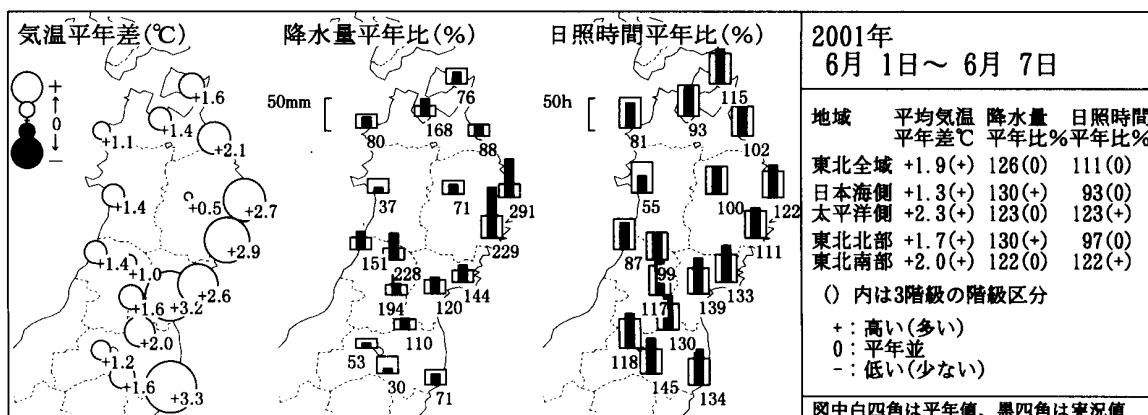


### 4. 最近1週間（6月1日～6月7日）の天候の経過

1~3日、東北北部は気圧の谷の影響を受け一時雨や雷雨となったが、東北南部中心に高気圧に覆われ概ね晴れた。4~5日は東北地方は高気圧に覆われ晴れたが、6~7日は前線や低気圧の影響で雨となった。

なお、東北南部は6月6日頃梅雨入りしたと見られる。（ただしこの梅雨入りの時期は暫定値であり、後日検証により確定したものが発表されます。）

平均気温は、東北地方で平年差+1.9と高かった。降水量は、東北南部で平年比122%と平年並、東北北部で平年比130%と多かった。日照時間は、東北日本海側で平年比93%と平年並、東北太平洋側で平年比123%と多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）